



## 平成25年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月31日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 土屋ホールディングス  
コード番号 1840 URL <http://www.tsuchiya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 土屋 昌三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 前川 克彦

TEL 011-717-5556

四半期報告書提出予定日 平成25年6月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年10月期第2四半期の連結業績(平成24年11月1日～平成25年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第2四半期	9,725	0.1	△629	—	△594	—	△621	—
24年10月期第2四半期	9,714	24.8	△574	—	△553	—	△569	—

(注) 包括利益 25年10月期第2四半期 △341百万円 (—%) 24年10月期第2四半期 △563百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
25年10月期第2四半期	△24.36	—	
24年10月期第2四半期	△22.30	—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年10月期第2四半期	19,727	11,866	60.2	465.00
24年10月期	19,865	12,309	62.0	482.38

(参考) 自己資本 25年10月期第2四半期 11,866百万円 24年10月期 12,309百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	—	0.00	—	4.00	4.00
25年10月期	—	0.00	—	—	—
25年10月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年10月期の連結業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,641	3.5	599	△11.8	616	△16.1	335	△30.9	13.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社土屋ツーバイホーム  
(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注意事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 有  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年10月期2Q	25,775,118 株	24年10月期	25,775,118 株
② 期末自己株式数	25年10月期2Q	255,979 株	24年10月期	255,973 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年10月期2Q	25,519,141 株	24年10月期2Q	25,519,153 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更 .....	3
(4) 会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速等から厳しい状況が続きましたが、政府の経済政策や日銀の金融緩和による円安や株価上昇により、景気回復への期待が高まりました。

当社グループが属する建設・住宅・不動産業界におきましては、住宅取得支援策として住宅ローン減税や省エネルギー性・耐震性を備えた住宅取得のための贈与税非課税枠の拡大等引き続き実施されており、新設住宅着工戸数が堅調に推移するなど、緩やかながら持ち直しの動きが継続しております。

このような状況において、当社グループは平成25年3月21日に、メガソーラー施設「土屋ソーラーファクトリー札幌」が運転開始となりました。また、株式会社土屋ホームトピアの主力商品である外断熱リフォーム「一期一家（いちごいちえ）」に、耐震補強金物「Shake Block（シェイクブロック）」を標準仕様として、太陽光発電とHEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）を組み入れた「一期一家REMS（いちごいちえりむす）」を2月10日より発売しております。

当第2四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高は97億25百万円（前期比0.1%増）となりました。利益につきましては、営業損失は6億29百万円、経常損失は5億94百万円、四半期純損失は6億21百万円となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業の形態として、冬期間の影響により第1四半期及び第2四半期に比べ第3四半期及び第4四半期に完成する工事の割合が大きいため、業績に著しい季節変動があります。

セグメントの業績は次の通りであります。

#### ①住宅事業

住宅事業につきましては、太陽光発電システム搭載商品の受注拡大に取り組みましたが、主力拠点である北海道において、積雪や寒冷が続いたことから着工・完工に遅れが生じ、当事業の売上高は70億30百万円（前年同四半期比1.4%増）となり、利益率の改善等もあり営業損失は6億12百万円となりました。

#### ②増改築事業

増改築事業につきましては、住宅一軒丸ごとリフォーム「一期一家（いちごいちえ）」を主力商品とする販売体制の強化や太陽光発電システムを中心に環境配慮型機器を搭載したリフォームの提案に注力するなど、積極的に受注拡大を図りました。当事業の売上高は18億93百万円（前年同四半期比1.2%増）となりましたが、事業所展開のため販売費及び一般管理費が増加し、営業損失は1億3百万円となりました。

#### ③不動産事業

不動産事業につきましては、地域に根差した企画商品の等の販売に取り組みましたが、当事業の売上高は4億97百万円（前年同四半期比20.3%減）、販売費及び一般管理費の圧縮により、営業利益は23百万円となりました。

#### ④賃貸事業

賃貸事業につきましては、不動産賃貸収入において、収益の確保が堅調に推移したことから、当事業の売上高は3億4百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は1億57百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金預金の減少及び販売用不動産の増加等により前連結会計年度末と比較して1億38百万円減少し、197億27百万円となりました。

負債は、未成工事受入金の増加及び工事未払金等の減少等により前連結会計年度末と比較して3億4百万円増加し、78億60百万円となりました。

純資産は、季節的要因による利益剰余金の減少等により前連結会計年度末と比較して4億43百万円減少し、118億66百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年10月期の連結業績予想につきましては、平成24年12月7日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

#### 連結子会社間の合併

当社は、平成24年8月31日開催の取締役会決議に基づき、当社の連結子会社である株式会社土屋ホームと株式会社土屋ツーバイホームとの合併を平成24年11月1日に実施いたしました。これは、株式会社土屋ホームを存続会社とする吸収合併方式で、株式会社土屋ツーバイホームは解散いたしました。

なお、当社の100%出資子会社同士の合併であるため、合併比率の取り決めはなく、合併による新株式の発行及び金銭等の交付は行っておりません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 簡便な会計処理

#### ①一般債権の貸倒実績高の算定方法

一般債権の貸倒実績高の算定については、前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率を使用しております。

#### ②棚卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

### （3）会計方針の変更

#### 1. 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年11月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

#### 2. 原価差異の繰延処理

従来、季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べしておりましたが、財務管理体制を踏まえて検討した結果、当該原価差異に係る損益をより的確に表示するため、当第1四半期連結会計期間より、原則的処理方法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ103百万円減少しております。

### （4）会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,862,523	3,286,638
完成工事未収入金等	465,193	250,306
未成工事支出金	379,251	706,767
販売用不動産	2,009,697	3,087,528
原材料及び貯蔵品	143,389	195,138
繰延税金資産	62,826	86,708
その他	297,702	841,316
貸倒引当金	△9,627	△6,903
流動資産合計	9,210,956	8,447,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,735,812	2,702,671
機械装置及び運搬具（純額）	124,657	757,207
土地	5,832,683	5,833,346
建設仮勘定	116,168	21,267
その他（純額）	59,375	59,421
有形固定資産合計	8,868,698	9,373,914
無形固定資産		
のれん	3,992	1,330
その他	185,992	163,946
無形固定資産合計	189,984	165,277
投資その他の資産		
投資有価証券	883,733	1,015,296
長期貸付金	137,805	136,683
繰延税金資産	25,459	30,172
その他	668,334	672,190
貸倒引当金	△119,108	△113,870
投資その他の資産合計	1,596,225	1,740,472
固定資産合計	10,654,907	11,279,664
資産合計	19,865,863	19,727,164

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金等	2,482,524	1,905,691
未払法人税等	216,551	47,656
繰延税金負債	1,455	859
未成工事受入金	1,439,706	2,115,630
完成工事補償引当金	180,850	147,293
その他	1,437,635	1,810,887
流動負債合計	5,758,723	6,028,018
固定負債		
退職給付引当金	695,158	717,056
役員退職慰労引当金	305,572	346,515
繰延税金負債	—	28,209
その他	796,605	740,937
固定負債合計	1,797,337	1,832,718
負債合計	7,556,061	7,860,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,114,815	7,114,815
資本剰余金	4,427,452	4,427,452
利益剰余金	1,057,991	334,327
自己株式	△56,763	△56,765
株主資本合計	12,543,494	11,819,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△233,691	46,597
その他の包括利益累計額合計	△233,691	46,597
純資産合計	12,309,802	11,866,426
負債純資産合計	19,865,863	19,727,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
売上高	9,714,955	9,725,958
売上原価	6,960,586	6,901,821
売上総利益	2,754,369	2,824,137
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1,006	158
従業員給料手当	1,326,976	1,322,888
退職給付引当金繰入額	21,669	27,904
役員退職慰労引当金繰入額	37,508	43,848
賃借料	336,972	354,230
その他	1,604,741	1,705,006
販売費及び一般管理費合計	3,328,875	3,454,036
営業損失(△)	△574,506	△629,898
営業外収益		
受取利息	2,109	6,032
受取配当金	4,533	4,200
その他	25,584	39,352
営業外収益合計	32,227	49,584
営業外費用		
支払利息	5,596	3,044
貸倒引当金繰入額	2,969	—
減価償却費	159	46
その他	2,027	10,694
営業外費用合計	10,752	13,785
経常損失(△)	△553,031	△594,100
特別利益		
固定資産売却益	—	4
特別利益合計	—	4
特別損失		
固定資産除却損	726	12,451
投資有価証券売却損	—	17,200
保険解約損	1,716	1,198
特別損失合計	2,443	30,850
税金等調整前四半期純損失(△)	△555,475	△624,945
法人税、住民税及び事業税	34,282	25,822
法人税等調整額	△20,686	△29,181
法人税等合計	13,596	△3,359
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△569,071	△621,586
四半期純損失(△)	△569,071	△621,586



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△569,071	△621,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,857	280,289
その他の包括利益合計	5,857	280,289
四半期包括利益	△563,213	△341,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△563,213	△341,297

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年11月1日至平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	住宅事業	増改築事業	不動産事業	賃貸事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,930,090	1,870,969	624,467	289,428	9,714,955	—	9,714,955
セグメント間の内部売上 高又は振替高	122,872	12,570	4,033	64,163	203,639	△203,639	—
計	7,052,962	1,883,539	628,500	353,591	9,918,594	△203,639	9,714,955
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	△705,058	17,179	△20,176	148,248	△559,807	△14,698	△574,506

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△14,698千円には、セグメント間取引消去1,133千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,832千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
金額的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	住宅事業	増改築事業	不動産事業	賃貸事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,030,112	1,893,495	497,711	304,639	9,725,958	—	9,725,958
セグメント間の内部売上 高又は振替高	94,141	9,856	413	62,646	167,057	△167,057	—
計	7,124,253	1,903,351	498,124	367,286	9,893,016	△167,057	9,725,958
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	△612,345	△103,863	23,816	157,664	△534,727	△95,171	△629,898

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△95,171千円には、セグメント間取引消去△1,378千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△93,792千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 従来、季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べしておりましたが、財務管理体制を踏まえて検討した結果、当該原価差異に係る損益をよりの確に表示するため、当第1四半期連結会計期間より、原則的処理方法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「住宅事業」で62,766千円、「増改築事業」で41,113千円増加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
金額的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ①販売実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日)	前連結会計年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日)
住宅事業 (千円)	6,930,090	7,030,112	19,460,369
増改築事業 (千円)	1,870,969	1,893,495	4,350,111
不動産事業 (千円)	624,467	497,711	1,334,795
賃貸事業 (千円)	289,428	304,639	588,730
合計 (千円)	9,714,955	9,725,958	25,734,007

###### ②受注状況

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		前連結会計年度	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
住宅事業	9,700,747	6,814,328	9,370,224	6,679,958	19,756,544	4,339,845
増改築事業	2,237,416	1,347,897	2,236,036	1,538,084	4,564,204	1,195,543